

公立大学法人名古屋市立大学第4次男女共同参画行動計画・年次計画(平成30年度～令和3年度)

計画目標			年次計画			
	大項目	小項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
(1) 教育	性別にかかわらず、充実した教育を受けられる環境づくりと、同時に社会において男女共同参画の担い手となる人材を育成する。	学生に対し、大学院進学や研究者になることの魅力を広める。	学部学生と研究者の懇談会等を実施する	継続実施	継続実施と3年間の活動の総括	継続実施と次年度以降の方針決定
		男女共同参画やワーク・ライフ・バランスに関する教養教育の充実を図る	教養教育科目「地域社会で活躍する女性」を開講する	継続して開講する	継続開講と3年間の総括	継続実施と次年度以降の方針決定
			ワーク・ライフ・バランスに関する教養教育特色科目「ワーク・ライフ・バランスとダイバーシティ」を開講する	継続して開講する	継続開講と3年間の総括	
		男女共同参画を推進するための教員研修を行う	男女共同参画に関する教員研修を実施する	継続実施	継続実施	継続実施
(2) 研究	性別にかかわらず、公平にかつ積極的に誰もが研究活動を行える環境づくりを進め、同時に男女共同参画社会を形成するための研究活動を推進する。	ライフイベントと研究の両立を支援する	研究支援員制度を実施するとともに、研究支援員利用報告会を行い、制度の周知を推進する	継続実施	支援員制度の果たす役割、意義について検討する	支援員制度の果たす役割、意義について継続して検討する
		上位職女性研究者が少ないことに鑑み、女性研究者の上位職への積極的登用や研究力向上に向けた取組を行う	学内の他部署と連携して英語プレゼンセミナー等の開催を検討する	実施する	実施する	継続実施と次年度以降の方針決定
			女性上位職登用に関するロールモデル講演等を実施する	実施する	実施する	
		女性研究者のネットワーク形成を促進する	定期的に女性研究者間の懇談会を実施する	継続実施	継続実施	継続実施
		男女共同参画の推進につながる研究活動の公表・表彰を行う。	男女共同参画奨励賞制度を実施する	継続実施	継続実施	継続実施
(3) 雇用	性別にかかわらず誰もが積極的に力を発揮でき、ワーク・ライフ・バランスを実現できる職場環境をつくる。	各部署で課題と目標を設定し、ジェンダーバランスを考慮した教員の採用に努める。	各部署で課題と目標を設定する	継続実施	継続実施と3年間の総括	継続実施と次年度以降の方針決定
		ワーク・ライフ・バランス相談室の相談内容や他大学・機関の例をもとに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた提言を行う。	ワーク・ライフ・バランス相談室で相談事業を実施する	継続実施	継続実施	相談事業の継続実施
			仕事と家庭の両立をテーマとするイベント、セミナーを企画実施し、メルマガで情報発信する	継続実施	継続実施	仕事と家庭の両立をテーマとするメルマガによる情報発信と育児・介護支援制度の学内周知
(4) 大学運営全般	ハラスメント予防対策と学外との連携を進める。	性別にかかわらず誰もが充実した教育を受け、積極的に研究や仕事に力を発揮できる環境をめざし、ハラスメントの予防対策を行う。	対象・テーマを設定し、年1回ハラスメント研修会を開催する	より効果的な研修会の開催を検討し実施する	継続実施と3年間の総括	継続実施と次年度以降の方針決定
		行政、地域、企業と連携し、男女共同参画の取組を進める	地域に発信できるセミナーを開催する	継続実施	継続実施	